

関西電力

代表取締役社長 森本 孝 様

2021年6月24日

新日本婦人の会会長 米山淳子

運転開始から40年を超えた関西電力美浜原発3号機の稼働は直ちに中止し、
廃炉にすることを求めます

地元住民をはじめ多くの国民の反対の声を無視し、6月23日、貴社美浜原発3号機を再稼働させたことに強く抗議します。

国は東京電力福島第一原発の事故を受け、教訓として原発の運転は「原則40年」と規定しました。原発は運転期間が長くなるほど炉心から出る放射線によって、原子炉圧力容器が劣化し、緊急時に冷却した場合、破損のリスクが高くなり、事故の危険性が高まると指摘されています。美浜原発3号機は1976年12月に運転を開始した44年を超える老朽原発です。過酷事故が起これば、福井県だけでなく、関西圏や中部圏、全国にも大きな影響を及ぼすこととなります。今も福島第一原発事故は収束のめどが立っておらず、多くの住民がふるさとに戻れずにいます。二度と再び原発事故を起こすことは許されません。

また稼働に伴って生じる使用済み核燃料も、一時保管する中間貯蔵施設が未だ定まってないまま稼働させることは無責任の極みです。

貴社美浜原発3号機は「原則40年」との規定に従って再稼働せず、廃炉にするべきです。